

議案第 83 号 令和 4 年度東郷町一般会計補正

予算（第 8 号） 討論一覧（討論順掲載）

賛成討論 中野まさひろ 議員

本町議会は「プラスチック製容器包装」の計画収集を令和 2 年第 3 回定例会において否定いたしました。一方国は、地球温暖化防止対策としての 2050 年カーボンニュートラル等を視野に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」を施行し、市町村には、製品も含めたプラスチック使用製品廃棄物の分別収集及びその再商品化に必要な措置を講ずる努力義務が課せられました。現在、県下 54 市町村の内 41 市町村（約 8 割）が「プラスチック製容器包装」を計画収集しております。地球温暖化を招いたのは私たち大人です。私たち大人には、次の世代に少しでも健全な地球を残すためにできる限りの努力をする義務があり、この事業はその一つと言えます。本町の可燃ごみへの「プラスチック製容器包装」混入率は、平成 15 年から計画収集する日進市の 2 倍近く。町民の皆さまにプラごみ分別を徹底いただくための行政の努力を強く求め賛成いたします。

賛成討論 近藤鑛治 議員

一般会計歳入歳出は、当初予算から 12 億 8,899 万 2 千円の大幅増額に危惧する。職員の時間外勤務手当も補正後 7223 万 2 千円となり 1087 万 2 千円増額となった。職員は新たな業務も加わり、戸惑いながら献身的な取組みに感謝したい。一般廃棄物処理事業 5808 千円補正は、プラスチック資源の一括回収に向けごみ袋・パンフレット作成を計上。債務負担行為補正で令和 5 年 7 月開始に向け、限度額 3248 万 8 千円で計画収集の開始に向けた取組みは賛成である。しかし、資源回収ステーションのプラ製容器包装回収の令和 5 年 6 月末で閉鎖は、慎重に進めるべきである。説明会・広報で希望する分別ができるか。現在の集積場所は、空き地、道路の片隅、公園、歩道の一部に設置されているが、袋も大きく軽くなる事で新たな問題も想定される。住民に混乱をさせてはならない。資源回収ステーションを 6 月末終了とせず、計画収集の試行期間を設ける事を強く要望する。